

令和6年度／令和7年度 企業様向け研究開発助成事業一覧(ふくおかIST・福岡県関係)

(R7.3.14現在)

| No. | 所管 | 事業名 | 事業趣旨 | 期間 | 予算上限 | 補助率 | 公募開始 | 提案〆切 |
|-----|--------------------------|--|---|--|--|---------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 | ふくおかIST | 令和7年度IST研究開発FS事業(スタートアップ研究会枠) | 新技術・新製品開発へ向けた研究会の取組を支援。福岡県内中小企業等を中心とした複数機関からなる研究会であること。 | 1年 | 最大50万円(予定) | 10/10 | R7.2.27～ | R7.5.9 |
| 2 | ふくおかIST | 令和7年度IST研究開発FS事業(プロジェクトFS枠) | 新技術・新製品開発を支援。国等の大型事業への提案を目指す福岡県内中小企業等を中心とした複数機関からなる研究プロジェクトであること。 | 1年 | 最大200万円 | 10/10 | R6.11.15～ | R7.1.17 |
| 3 | 福岡県(商工部中小企業技術振興課) | 新技術・製品開発支援補助金 | 新たな需要が見込まれる分野への参入を目的とした「ものづくり」を支援。 | 1年 | 500万円 | 1/2 | 1次:R4.11.24～ 2次:R5.1.20～ | 1次:R5.1.19 2次:R5.3.16 |
| 4 | 福岡県(商工部中小企業技術振興課) | 令和5年度・令和6年度 賃上げ実現に向けた福岡県中小企業生産性向上緊急支援補助金 | 福岡県内の中小企業等が省力化又は省エネ化により生産性を向上させ、賃上げを行うために、県が設置する「福岡県中小企業生産性向上支援センター」による支援を受けている企業を対象とする補助金。 | 交付決定の日から R7.3.10迄 | 大規模支援 1,300万円 小規模支援 200万円 | 2/3 | R5.12.27～ | R6.12.27 ※予算額に達し次第、 募集終了 |
| 5 | 福岡県(商工部中小企業技術振興課) | 脱炭素社会実現のための省エネ新製品開発支援補助金(二次募集) | 将来の需要を見越した省エネにつながる新製品の開発例)高効率な冷暖房設備や加熱機器等の開発、新工法(溶接レス、熱処理レス等)によりCO2削減につながる製造装置や製品の開発、廃棄物のリサイクルによる新製品開発、エネルギーハーベスト機器の開発、不燃木材の開発など | 交付決定の日から R7.3.3迄 | 500万円 | 1/2 | R6.5.24～ | R6.6.27 ※17時まで |
| 6 | 福岡県水素グリーン成長戦略会議 | <予告> 製品開発支援事業 | 水素エネルギー関連技術の向上を図り、水素エネルギー産業の育成・集積を図る目的で、福岡県水素グリーン成長戦略会議会員が行なう製品開発の支援事業を募集するもの。水素に加え、関連するエネルギー等(アンモニアや合成メタン等)に関する製品開発を支援対象。①可能性調査枠、②事業化研究枠がある。 | ①1年 ②3年 | ①500万円 ②1,000万円 | 10/10 | R7.3.19～ | R7.4.18 |
| 7 | 福岡県バイオコミュニティ推進会議 | <予告> 福岡バイオ産業創出事業 | バイオテクノロジー及び関連分野で新製品・新技術の研究開発・事業創出等を支援。①可能性試験 ②育成支援型 ③育成支援型(特定地域枠:久留米) ④育成支援型(バイオものづくり枠) ⑤実用化支援型 ⑥機能性食品枠がある。 | ①1年 ②2年 ③2年 ④2年 ⑤2年 ⑥2年 | ①100万円 ②400万円 ③400万円 ④400万円 ⑤800万円 ⑥200万円 | 2/3 | R7.4.1(予定) | R7年4月下旬 (予定) |
| 8 | 福岡県バイオコミュニティ推進会議 | 福岡県製品開発プロジェクト研究会事業 | 食品・化粧品などのバイオテクノロジー製品の開発について、専門家の招聘や調査研究などを支援する。 | 1年 | 50万円 | 10/10 | 随時 | 随時 |
| 9 | ふくおかIST | <予告> 令和7年度半導体後工程関連製品開発支援事業 | 県内に事業所等を有する又は県内に拠点を設置する具体的な設置計画がある企業を対象に、半導体産業全般に関する開発について支援する。後行程に限らず、製品開発、工程開発、サービス開発に対して助成を行う。 | 1年 | 可能性試験:200万円程度 製品開発:750万円程度 | 1/2 | R7.6月頃～ | 未定 |
| 10 | 北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進会議事務局 | 【令和5年度補正】 CASE等関連技術開発支援補助金(二次募集) | 県内の自動車関連産業に携わる中小企業を対象に、CASE(コネクティッド、自動化、シェアリング、電動化)やカーボンニュートラルに係る新製品開発や新分野参入への取組を支援。 | 1年 | 1,000万円/年 | 中小企業 2/3 その他 1/2 | R6.3.14～ | R6.8.30 |
| 11 | 北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進会議事務局 | 【令和5年度補正】 電動化参入支援製品開発補助金(二次募集) | 県内の自動車関連産業に携わる中小企業を対象に、完成車メーカーや完成車メーカーに直接部品を供給するメーカーの電動化関連の課題の解決に繋がる製品・生産設備の試作や開発を支援。 | 1年 | 1,000万円/年 | 中小企業 2/3 その他 1/2 | R6.3.14～ | R6.8.30 |

令和6年度／令和7年度 企業様向け研究開発助成事業一覧(経済産業省・文部科学省関係)

(R7.3.14現在)

| No. | 所管 | 事業名 | 事業趣旨 | 期間 | 予算上限 | 補助率 | 公募開始 | 提案〆切 |
|-----|----------------------|--|---|-----------------------------|---|--|--|----------------------------------|
| 1 | 経済産業省 | 令和7年度成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech) | 中小企業等が、ものづくり基盤技術及びサービスの高度化に向けて、大学・公設試等と連携して行う研究開発等を支援。 ※第2回公募を行うことは現時点で予定なし。 | 2年又は3年 | 【通常枠】 3年間で9,750万円 【出資枠】 3年間で3億円 | 2/3 | R7.2.17 | R7.4.18 ※17:00まで |
| 2 | 経済産業省 | 事業再構築補助金(第13回) ※新規の応募申請受付は、第13回の公募で終了となります。 | ポストコロナの時代の経済社会の変化に対応するために新市場進出、事業・業種転換、事業再編またはこれらの取組を通じた規模の拡大、思い切った事業再構築に意欲を有する中小企業を支援する。第13回公募では、ポストコロナに対応した事業再構築をこれから行う事業者の取り組みを引き続き重点的に支援する。 ①成長分野進出枠(通常類型)②成長分野進出枠(GX進出類型)③コロナ回復加速化枠(最低賃金類型)④卒業促進上乗せ措置⑤中長期大規模賃金引上促進上乗せ措置 | 1年 | ※企業規模によって上限が異なる。 ①100～6,000万円 ②100～8,000万円 ③100～1,500万円 ④各事業類型の補助金上限に準じる ⑤100～3,000万円 | ※中小の場合 ①1/2 ②1/2 ③3/4 ④1/2 ⑤1/2 | R7.1.10～ | R7.3.26 ※18:00まで |
| 3 | 経済産業省 | ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金(第19次) | 中小企業・小規模事業者が、今後複数年にわたる相次ぐ制度変更に対応するため、生産性向上に資する革新的な新製品・新サービス開発や海外需要開拓を行う事業のために必要な設備投資等に要する経費の一部を補助する事業を行うことにより、中小企業者等の生産性向上を促進し経済活性化を実現することを目的とする。 | 交付決定日から A)10か月 B)12か月 | (A) 製品・サービス高付加価値化枠 従業員数 5人以下 750万円 6～20人 1,000万円 21～50人 1,500万円 51人以上 2,500万円 B) グローバル枠 3,000万円 | 中小企業 1/2 小規模企業者等 2/3 | 【公募開始】 R7.2.14 【申請開始】 R7.4.11 | R7.4.25 ※17:00まで |
| 4 | 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 | 中小企業省力化投資補助金 ※2024年8月9日(金)より、応募・交付申請は随時受付に変更。 | IoTやロボットなどの付加価値額向上や生産性向上に効果的な汎用製品を「製品カタログ」から選択・導入することで、中小企業等の付加価値や生産性の向上、さらには賃上げにつなげることを目的とした補助金。①カタログ注文型と②一般型がある。 | ①12ヶ月以内 ②18ヶ月以内 | ①従業員数により 200～1,000万円 ②従業員数により 750～8,000万円 | 1/2以下 (企業規模、補助金額により異なる) | R6.8.9～ | 当面の間 随時受付 |
| 5 | 科学技術振興機構(JST) | <予告> 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) | 大学・公的研究機関等で生まれた科学技術に関する研究成果を実用化することで、研究成果の社会還元を目指す技術移転支援プログラム。 研究ステージに応じて①産学共同(育成型)、②産学共同(本格型)、③実装支援(返済型)がある。 | ①2.5年 ②4.5年 ③3年 | ①1,500万円 ②2,500万円 ③5億円 | 10/10 | ①R7.3.18～ ②R7.3.18～ ③R6.4.1(随時) | ①R7.5月中旬 ②R7.5月中旬 ③R7.3.31 |
| 6 | NEDO | カーボンリサイクル・次世代火力発電等技術開発／CO2排出削減・有効利用実用化技術開発 | 2050年カーボンニュートラルの目標実現に向けて、火力発電所の脱炭素化や、素材産業や石油精製産業などの電化や水素化等で脱炭素化が難しくCO2の排出が避けられない分野を中心に最大限活用する必要があるとされている。実用化を前提としたCO2利用技術の開発に関する内容とし、助成事業のみの公募。今回は、[1]化学品、[2]鉱物を中心に公募する。 | 最長3年 | 1件あたり上限15億円程度 | 2/3 | R7.2.13 | R7.3.14 ※正午まで |

令和6年度／令和7年度 企業様向け研究開発助成事業一覧(その他の助成金)

(R7.3.14現在)

| No. | 所管 | 事業名 | 事業趣旨 | 期間 | 予算上限 | 補助率 | 公募開始 | 提案〆切 |
|-----|-------------------------------|--|--|----------|---|----------------------------|------------------------------|-----------------------------------|
| 1 | 市村清新技術財団 | <予告> 新技術開発助成 第115回(令和7年度 第1次) | 独創的な新技術の実用化を支援する。提案技術が特許出願されていることが必要。また、開発段階が実用化を目的とした開発試作であり、実用化の見込みがあること。 | 1年 | 未定 (参考:前回2400万円) | 4/5 | 1次:R7.4.1~ 2次:R7.10.1~ | 1次:R7.4.20 2次:R7.10.20 |
| 2 | 市村清新技術財団 | <予告> 地球環境研究助成(第8回) | 地球環境の保全、中でも地球温暖化対策に係る重要課題解決のための研究テーマを行う大学、公的研究機関に対し助成を行う。 | 最長3年 | 未定(参考:前回500万円) | 10/10 | R7.7.16~ | R7.9.30 |
| 3 | (公財) 荏原 畠山記念文化財団 | 2025年度 研究助成公募 | 国内の大学・研究所等に所属する研究者または、学識があると認められる個人・グループに対して、(下記分野のうちいずれかの)研究内容に関して助成を行う。 ①「風水力・流体機械」 ②「環境・エネルギー・バイオマス」 ③「半導体製造装置及びプロセス」 | 1年 | 1件当たり70万円 (3分野×各3件の計9件) | 10/10 | R7.1.24 ~ | R7.3.18 |
| 4 | 柿原化学技術研究財団 | 令和6年度科学技術研究助成事業 | 福岡県の新たな産業の振興に寄与するような産学による共同研究又は個人の研究に対して、研究助成を行う。 (1)特別課題 ①医療福祉の向上に寄与する研究②半導体、AIに関する研究 (2)一般(公募)課題 ①バイオベンチャー等育成事業 ②先端科学技術開発等の育成事業 ③福岡バイオバレープロジェクトに関連する事業 | 1年 | (1)①②300万円 (2)①②200万円、 ③100万円~300万円 | (1)4/5 (2)①②4/5 ③5/5 | R6.5.7~ | R6.6.10 |
| 5 | 飯塚研究開発機構 | <予告> 研究開発支援補助金 ※公募説明会 令和7年4月11日実施 | 筑豊地区、旧炭産地域の企業に特化した研究開発補助金。 ①製品試作補助金、②調査研究補助金、③実用化開発補助金がある。 | ~R8.1.31 | ①最大30万円 ②最大100万円 ③最大250万円 | ①9/10 ②2/3 ③2/3 | R7.4.1~ | ①R7.10.31 ②③R7.5.16 |
| 6 | 飯塚研究開発機構 | <予告> 医療・福祉関連機器開発支援補助金 ※公募説明会 令和7年4月11日実施 | 医療・福祉関連機器産業への参入を目指し、新製品開発に取り組む県内中小企業を支援するための補助金。 ①医療・福祉関連機器開発補助金、②医療・福祉関連機器製品化調査試験補助金がある。 | ~R8.1.31 | ①最大300万円 ②最大50万円 | 1/2 | R7.4.1~ | ①R7.5.23 ②R7.11.28 |
| 7 | (公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター | 令和7年度福岡県リサイクル総合研究事業化センター研究開発事業(研究会) | 福岡県における循環型社会の構築に寄与し、実用化が見込まれるリサイクル技術の開発及び社会システムの構築に関する共同研究であって、次のようなテーマに取り組むもの。 ・新規性が認められるリサイクル技術の開発及び社会システムの構築 ・既存のリサイクル技術・システムの生産性を向上させる取組みなど | 最長2年 | 年間100万円程度 | 10/10 | R7.1.20~ | R7.2.7 ※採択件数が予定数に満たなかった場合、随時受付 |
| 8 | 久留米リサーチ・パーク | 可能性試験 | 久留米市内の中小企業が技術課題の壊滅のために研究機関の技術相談やこれに付随した予備的試験を利用したい場合に補助するもの。 | 1年 | 10万円 | 10/10 | 随時 | 随時 |
| 9 | 久留米リサーチ・パーク | <予告> 令和7年度 久留米市ものづくり支援事業 | 久留米市内の中小企業の新製品・新技術開発を支援する。 ①育成支援型、②実用化支援型がある。 | 1年 | ①110万円 ②330万円 | 2/3 | R7.4.1~ | R7.4.30 ※16時まで |
| 10 | 久留米市 | 令和6年度 久留米市6次産業化等チャレンジ支援事業補助金 | 久留米産農林水産物を活用し、6次産業化・農商工連携を行う農林漁業者又は農林漁業団体及び食品関連企業等に対し、農林水産加工品の開発や販路拡大を支援する。 ①商品開発支援など ②コンサルティング支援 | ~R7.3.31 | ①50万円 ②30万円 | 1/2 | R6.6.3~ | R6.7.31 |
| 11 | ふくおかフィナンシャルグループ企業育成財団(キューテック) | 研究開発助成金 | 九州、山口地域に本社があるベンチャー企業・中小企業の新技術、新製品開発を支援する。 | 1年 | 500万円 | 10/10 | R6.5.1~ | R6.5.31 |
| 12 | 三菱UFJ技術育成財団 | 2024年度第2回研究開発助成金 | 創業後または新規事業進出後5年以内の中小企業で、優れた新技術・新製品等を自ら開発し、事業化しようとする企業を支援する。 | 1年 | 300万円 | 1/2 | 第1回:R6.4.20~ 第2回:R6.9.20~ | 第1回:R6.5.20 第2回:R6.10.20 |
| 13 | 北九州市 | 中小企業技術開発振興助成金 | 新技術・新製品等の研究開発に挑戦する中小企業のための助成金。北九州市に事業所を有していること。 | 1年 | 500万円 | 2/3 | R6.4.1~ | R6.5.15 |

| No. | 所管 | 事業名 | 事業趣旨 | 期間 | 予算上限 | 補助率 | 公募開始 | 提案〆切 |
|-----|--|----------------------------------|---|--------------------------|--|---------------------------------|----------|-------------------|
| 14 | 北九州市 | 環境未来技術開発助成 | 新規性、独自性に優れ、かつ実現性の高い環境技術の実証研究等に対して、その研究開発費を助成する。北九州市内の中小企業が対象。 ①実証研究(事業化チャレンジ枠)②実証研究(一般枠) ③社会システム研究 ④FS研究 | ①1年 ②3年 ③1年 ④1年 | ①1,500万円 ②1,000万円 ③④200万円 | ①2/3 ②1/3 ③2/3 ④2/3 | R6.4.15~ | R6.5.17 |
| 15 | 北九州市 | 北九州市サーキュラーエコノミー基盤形成促進事業費補助金 | 産業廃棄物の再生利用や減量に寄与する効果が大きいと認められる設備の導入やその前段階としての技術的検討及び市場・経済性等の調査研究(FS調査)に要する経費の一部を補助することにより、サーキュラーエコノミー推進のための基盤形成を図ることを目的とする。 ①設備導入事業 ②調査研究事業(FS調査) | ~R7.3.14 | ①1,000万円 ②200万円 | ①1/2 ②2/3 | R6.5.1~ | R6.5.31 ※16時まで |
| 16 | 公益財団法人 北九州産業学術推進機構 (FAIS) | <予告> シーズ創出・実用性検証事業 | 北九州市に所在する大学研究機関が実施する下記分野の可能性を検証する研究開発を補助するもの。 ※「自動車」「ロボット・AI・IoT」「医療・保健・介護・福祉」「革新的ものづくり」の四分野 | 1年 | (参考:R6) 200万円 | (参考R6) 10/10 | R7.4.4~ | R7.5.9 |
| | | <予告> 実用化研究開発事業 | 実用化が見込まれる新技術・新製品の研究開発に対して補助 ※「自動車」「ロボット・AI・IoT」「医療・保健・介護・福祉」「革新的ものづくり」の四分野について、産学連携で研究開発を実施する市内の企業等が対象 | 1年 | (参考:R6) 500万円 | 中小企業 2/3 中小以外 1/2 | R7.4.4~ | R7.5.9 |
| | | <予告> 未来産業イノベーション創出事業 | 実用化が見込まれる新技術・新製品の研究開発に対して補助 ※「半導体」「自動車」「グリーン」の3分野について、研究開発実施する市内の大学等研究機関、企業等が対象 | 1年 | (参考R6) ①大学等研究機関 単独研究:300万円 企業と共同研究:1,000万円 ②市内企業:1,000万円 | ①10/10 ②中小2/3 中小以外 1/2 | R7.4.4~ | R7.5.9 |
| | | <予告> 衛星データ利活用実証・新技術開発事業 | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 | R7.4.4~ | R7.5.9 |
| | | <予告> 宇宙関連機器新技術開発事業 | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 | R7.4.4~ | R7.5.9 |
| | | <予告> GX推進補助金 | 北九州市の地域企業のGXの取組みの推進と企業価値の向上を図り、北九州市におけるGXに資する新ビジネスの創出及び官民GX投資を促進することを目的とする | ~R8.1.31 | 500万円 | 1/2 | R7.4.4~ | R7.6.6 |
| 17 | (公財)九州先端科学技術研究所 (ISIT) グリーンイノベーション推進室 ※福岡市の補助金制度 | 【令和6年度】 福岡グリーンイノベーションチャレンジ補助金 | 脱炭素の分野をビジネスチャンスと捉え、カーボンニュートラルに資する製品開発等の新たな事業を展開する中小企業等を支援し、グリーンイノベーションを推進することを目的とする補助金。 | 交付申請日~ R7.3.31 | 200万円 | 1/2 | R6.4.8 | R6.6.7 ※17時まで |
| 18 | 公益財団法人 YMFG 地域企業助成基金 | 【令和6年度(第41回)】YMFG地域企業助成基金 | 山口県、広島県及び福岡県内の中小企業等に助成を行うことにより、地域経済の健全な発展に寄与することを目的とする。 【助成内容①】新技術・新商品・新ビジネス等の開発、新生産方法・新販売方式等の導入を通じて、創造的・革新的な経営に取り組む企業に対する助成 【助成内容②】地域特産品・工芸品等の伝統産業について、技術・技法の存続及び発展に貢献する企業に対する助成 | - | 【助成内容①】 1社あたり100万円 【助成内容②】 1社あたり50万円 | 10/10 | R6.8.1~ | R6.9.30 |